

温室効果ガス排出量 第三者検証報告書

シャープ株式会社 御中

2023年08月10日
株式会社 日本環境認証機構
東京都港区赤坂 2-2-19

代表取締役社長 小野寺 浩幸

株式会社 日本環境認証機構（以下、「当社」）は、国内連結会社・海外連結生産子会社を含むシャープ株式会社（以下、「組織」）により報告された温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証の目的及び範囲

当社は、組織から報告されたシャープ株式会社グループにおける2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の温室効果ガス排出量情報について検証を行った。検証の目的は、報告情報の信頼性および正確性など、報告情報の信憑性を検証した結果についてその見解を述べることにある。

1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量

- ・組織の40拠点の事業活動に伴うエネルギー起源 CO₂ 排出量
- ・組織の国内及び海外工場40拠点の生産プロセスに伴う温室効果ガス排出量

2) スコープ3 温室効果ガス排出量

- ・組織の定義に基づくカテゴリ11 排出量

組織内部での再検討結果及び当社の検証結果に基づき、組織は検証に供された温室効果ガス排出量のデータの一部を修正した。温室効果ガス排出量を算定し、報告する責任は組織にあり、当社の責任は、独立の立場から組織によって算定された温室効果ガス排出量に対する意見を表明することにある。

2. 検証手続

当社は、ISO 14064-3:2019, Greenhouse gases – Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements に準拠して検証を行った。当社は、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し、算定する責任のある組織の関係者へのヒアリング又は書類による確認
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報（データ）に対し、算定基準の適用方法、データの測定方法、組織が採用した仮定、その基礎となるデータの評価、算定結果の公表における記載の検討
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための情報（データ）のサンプリングによる検証

3. 検証の結論

当社が実施した検証作業とプロセスによると、組織の温室効果ガス排出量情報が以下であることを示す証拠は見出されなかった。

- ・重要性において十分に正しいものではなく、組織のデータ及び情報を公正に表示していない。
- ・組織が定めた算定方法に従って作成されていない。

検証された温室効果ガス排出量

スコープ1：331 ktCO₂e、スコープ2：794 ktCO₂e、スコープ3：25,800 ktCO₂e（カテゴリ11）

以上

【検証の独立性、客観性】 組織とJACO 検証チームは、特定の利害関係がなく、独立した立場で検証を行いました。